

日本光学会平成 19 年度第 1 回常任幹事会議事録

日 時：平成 19 年 7 月 17 日(火) 13:30~17:30

場 所：応用物理学会会議室

参加者：伊東幹事長，他 18 名

議 事：

1. 平成 19 年度第 181 回幹事会議事録の確認

- ・平成 19 年度第 181 回幹事会議事録が承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・発刊作業の進捗が報告された。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載および投稿論文の状況が報告された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・OR 電子版の平成 18 年のアクセス数は，電通大サイトで約 4,000 件であり，SpringerLink で約 13,700 件であったことが報告された。

2-3. 講演会関連報告

(1) 第 32 回光学シンポジウム結果速報

- ・7 月 5 日，6 日に東大生研にて開催された。327 名の参加があり，盛況であったとの報告があった。次回の実行委員長は白石氏を予定していることが報告された。

(2) 第 41 回サマーセミナー進捗報告

- ・応募人数が定員 50 名に達していないことが報告され，積極的に若手研究者を勧誘してほしいとの要請があった。
- ・サマーセミナーについて，活発に議論がなされ，学生を多めに勧誘してはどうか，展示会の併設はどうかなど，多数の意見が出された。

(3) カラーフォーラム JAPAN 2007 進捗報告

- ・日程と場所が決定し，工学院大学にて 11 月 27 日にチュートリアルセミナー，28 日，29 日に研究発表と講演を開催する予定であることが報告された。

(4) Optics & Photonics Japan 2007 進捗報告

- ・実行委員会における進捗状況が報告され，シンポジウムは 9 セッションを予定しており，最大 168 件の講演となるとの報告がなされた。

(5) 第 34 回冬期講習会進捗報告

- ・開催日を 1 月 10 日，11 日に予定しており，場所は東京大学山上会館を予約済みであるとの報告があった。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・依頼のあった 5 件について承認された。

(2) 会員動静について

- ・6 月中に 8 名の会員数増加があったことが報告された。

(3) 収支計算書について

- ・平成 19 年 1 月 1 日から 7 月 31 日までの収支計算書が示された。

(4) 奨励賞審査結果報告

- ・候補論文 27 編から上位 5 名の選考に至った過程が報告された。

(5) 光学論文賞選考委員報告

- ・渡辺委員長を含め，10 名を選考し，内諾を頂いているとの報告があった。選考にあたって，多方面の分野からの起用と女性の起用を考慮したことが報告された。

(6) 会員制度委員会報告

- ・特に進展がないため，次回幹事会にて進捗を報告することとなった。

(7) 500 人会員増委員会報告

- ・OPJ において日本光学会を紹介する展示ブースを検討しているとの報告があった。
- ・会員になることの利点をしっかりと強調することが重要であるとの意見が出された。

(8) 日本光学会ホームページについて

- ・前回幹事会以降のホームページアクセス数が報告された。

(9) 高額物件の随意契約について

- ・応用物理学会に対して関東財務局の監査があり，100 万円以上の物品の購入については競争入札をするよう指導があったことが報告された。

(10) 産学官連携推進事業進捗報告

- ・今年度の 4 つの活動は，光応用新産業創出フォーラム，ブレイクネットワーク推進，フォーラム関連出版，ビジョンロードマップであり，それぞれの担当者が決定したことが報告された。

- ・第 3 回光応用新産業創出フォーラムを，12 月 14 日に慶応大学で開催することを決定したことが報告された。

(11) 日本光学会内規修正箇所について

- ・日本光学会内規に関して，「付」(誤)→「附」(正)など，誤植が 5 箇所あったため，修正案が提示され，承認された。

3. 審議事項

(1) 日本光学会ロゴの変更について

- ・ロゴマークの改定に関して、キャノンより提案のあったロゴマーク案が示された。
- ・ロゴの改定作業が進んでいることを、会員向けにホームページなどで公表することが提案され、承認された。

(2) 入会のしおり改訂について

- ・入会のしおりの改訂案が示された。改訂に伴い、ホームページの入会案内の変更も必要となることが報告された。

(3) その他

交代幹事の推薦について

- ・交代幹事の推薦に関する電子メールを対象者に近日中に送付することが伝えられた。

第 182 回幹事会

2007年9月18日(火)に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集報告および出版報告、光学シンポジウム収支報告、サマーセミナー結果報告、カラーフォーラム JAPAN 2007 進捗報告、Optics & Photonics Japan 2007 進捗報告、光応用新産業創出フォーラム進捗報告、冬期講習会進捗報、北海道講演会進捗報告、名古屋講演会進捗報告、関西講演会進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、平成19年度年間計画、収支計算書、高額物件の随意契約、奨励賞および光学論文賞関連報告、メーリングリストへの案内配信、会員制度委員会報告、産学官連携推進事業進捗報告、日本光学会 HP についての報告がありました。さらに、電気関係学会北陸支部連合大会、光学五学会関西支部連合講演会、光学シンポジウム企画案、平成20年度予算案、次期幹事案(幹事会推薦候補)、日本光学会ロゴの変更、入会のしおり改訂、講演会関連報告の様式、国際協力支援金規定・申請書、「光学」の電子アーカイブ化と投稿規定改定、SPIE との覚書延長、日韓交流シンポジウム開催提案、来年度サマーセミナー開催方針案について審議がなされました。なお、詳しい議事録は第37巻第1号に掲載予定です。

第 235 回「光学」編集委員会

2007年8月31日(金)に、東京大学山上会館会議室において開催されました。第37巻第6,7号の企画決定、第37巻第8,9号の第二次構想案、第37巻第10,11号の第一次構想案の審議、第37巻第12号および第38巻第1号の号担当の決定が行われました。その後、報告および審議

事項を経て、論文投稿・審査状況報告、各号進捗状況報告、会計報告、幹事会報告がなされました。

日本光学会光設計研究グループ第 10 回光設計賞

日本光学会光設計研究グループ第10回光設計賞の受賞者は、審査の結果下記の通り決定しました。

受賞者：

○光設計優秀賞

「軸対称自由曲面を使った光学系設計理論とそれを用いた全方位光学系」

研野孝吉氏(オリンパス)

○光設計奨励賞

「偏心・チルト外乱に強く軟 X 線適用の“合わせ鏡”2枚凹面アプラナート顕微対物」

豊田光紀氏・山本正樹氏(東北大多元物質科学研究所)

○光設計特別賞

「熱アシスト磁気記録用 SIM (Solid Immersion Mirror) の設計と試作」

金野賢治氏・興津昌広氏・小椋和幸氏・波多野洋氏・西田直樹氏・関根孝二郎氏・杭迫真奈美氏・上田裕昭氏(コニカミノルタオプト)

表彰：11月26日～28日に大阪大学コンベンションセンター(大阪大吹田キャンパス)にて開催される Optics & Photonics Japan 2007 にて、以下のように授賞式・受賞記念講演を行う予定です。

○光設計賞授賞式 11月28日(水) 9:00～9:15 会場：MOホール

○光設計賞受賞記念講演 11月28日(水) 9:15～10:45 会場：MOホール

Optics & Photonics Japan 2007

期 日：2007年11月26日(月)～11月28日(水)

場 所：大阪大学コンベンションセンター(吹田キャンパス)

主 催：日本光学会

共 催：大阪大学大学院工学研究科

問合せ先：OPJ2007事務局

電話 03-5925-2840 Fax 03-5925-2913

E-mail: opj@opt-j.com

<http://www.opt-j.com/opj2007/>

詳細は第36巻第10号の綴り込みをご覧ください。

第34回冬期講習会「デジタル一眼レフを支える技術」

期 日： 2008年1月10日(木)～1月11日(金)
場 所： 東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室
(〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1)
主 催： 日本光学会
協 賛： 計測自動制御学会, 精密工学会, 電子情報通信学会, 日本オプトメカトロニクス協会, 日本物理学会, レーザー学会, 光産業振興協会, 日本写真学会
問合せ先： オリパス(株)研究開発センター 武山哲英
電話 042-691-7239 Fax 042-691-7573
E-mail: OT-WinterCourse@ot.olympus.co.jp
詳細は本号巻頭の綴じ込みをご覧ください。

カラーフォーラム JAPAN 2007

期 日： 2007年11月27日(火)～11月29日(木)
場 所： 工学院大学(東京・西新宿)
主 催： 光学四学会幹事会(日本光学会ほか)
参加費： チュートリアルのみ(11/27) 16,000円, フォーラムどちらか1日 10,000円, フォーラム両日 12,000円, チュートリアル+フォーラム1日 20,000円, チュートリアル+フォーラム両日 23,000円, 学生(3日間) 6,000円
招待講演： 5件
「Pantoneについて」石井優子(PANTONE Japan)・山口美穂(SORA)
「色覚バリアフリー」伊賀公一(CUD機構)
「良い印刷入稿原稿」郡司秀明(印刷技術協会)
「カラーイメージング」仲谷文雄(富士ゼロックス)
「拡張色空間と標準化」卜部 仁(富士フイルム)
口頭発表： 34件
ポスター発表： 10件
チュートリアルセミナー： 4件
「視覚・色覚の基礎」溝上陽子(千葉大)
「表色・測色の基礎」鈴木卓治(歴史民俗博物館)
「色彩心理の基礎」名取和幸(日本色彩研究所)
「カラーマネージメントの基礎」池上博章(富士ゼロックス)
問合せ先： カラーフォーラム JAPAN 事務局
電話 03-3950-1641 Fax 03-3565-7717
E-mail: ren-net@vega.ocn.ne.jp
<http://www.ren-associates.com/ColorForumJ/>

平成19年度日本光学会関西講演会・応用光学懇談会 第135回講演会

テーマ： デジタルホログラフィによる計測応用と展望
日 時： 2007年11月22日(木) 13:30～17:10
場 所： 島津マルチホール(大阪市北区芝田1丁目1-4
阪急ターミナルビル14階, 島津製作所関西支社内,
電話 06-6373-6522)
交 通： 阪急電鉄・阪神電鉄・地下鉄御堂筋線梅田駅,
JR大阪駅下車徒歩5分 <http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/access/map/kansai.html>
主 催： 日本光学会, 応用光学懇談会
プログラム：

- 13:30 開会の挨拶
- 13:40 「デジタルホログラフィの基礎と計測応用」
野村孝徳(和歌山大)
- 14:20 「シングルショットデジタルホログラフィと
生物観察応用」粟辻安浩(京都工繊大)
- 14:50 「合成開口デジタルホログラフィの3次元画
像応用」松島恭治(関西大)

[休憩]

- 15:40 「高精細イメージセンサー」高橋秀和(キヤノン)
- 16:10 「流体計測におけるデジタルホログラフィ」
村田 滋(京都工繊大)
- 16:40 「フォトンカウンティングデジタルホログラ
フィー」早崎芳夫(徳島大)

参加費： 無料

申込方法： 氏名, 所属, 連絡先(住所, 電話, Fax, E-mail)を明記の上, E-mailまたはFaxにて以下の宛先までお申し込みください。

参加申込期限： 2007年11月15日(木)

定 員： 80名(先着順)

問合せ先・申込先：

大阪大学大学院情報科学研究科情報数理学専攻
小倉裕介
〒565-0871 吹田市山田丘2-1
電話 06-6879-7849 Fax 06-6879-7295
E-mail: office@aos1975.jp
<http://www.aos1975.jp/>

第41回光学五学会関西支部連合講演会

テーマ： 現代生活と光一光で守る豊かなくらしー
日 時： 2008年1月26日(土) 10:35～17:00
場 所： 大阪市立大学文化交流センターホール(〒530-

0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

主催：日本光学会ほか

プログラム：「生活見守り住宅—新しい生活サービス創出を目指して—」松岡克典（産総研）、「酸化チタン光触媒の実用化展開と最新の研究動向」安部正一（阪府大）、「高効率ナノランプをめざして—微細構造による熱輻射の制御—」高原淳一（大阪大）、「農作物栽培をはじめとするLEDの応用事例」武市真吾（シーシーエス）、「窒化物半導体LEDの現状と将来展望—基礎光物性とベンチャー創成から見えてくるもの—」川上養一（京大）

参加費：主催・協賛学会員3,000円、会員外3,500円、学生1,000円

懇親会：講演会終了後（無料）

申込締切：2008年1月16日（水）（定員90名）

申込方法：氏名、勤務先（学校）、住所、電話、Fax、E-mail、所属学会を書き、下記へE-mailまたはFaxでお申し込みください。

ソニー(株)AMC事業部開発部 水口 淳 ※「光学五学会」と明記

Fax 06-6150-2045

E-mail: Jun.Minakuchi@jp.sony.com

問合せ先：大阪電気通信大学情報通信工学部通信工学科 土居元紀

E-mail: doi@isc.osakac.ac.jp

第3回光応用新産業創出フォーラム

日本光学会では、「ポテンシャルの高い光科学技術を発展させることによって新産業の創出を促し、社会に貢献する」という基本理念のもと、「光関連技術を産学官連携の中で創出・活用し革新的価値を創造しながら豊かな社会の建設に役立つ事業を実現する」というビジョンを掲げ、産学官連携推進事業を進めております。本フォーラムは、日本が真の科学技術創造立国となるための産学官の連携による人材育成、ブレインネットワークの構築、産業種の創出・育成に向けた議論の場を目指しています。

テーマ：光の健康・医療・福祉への応用と新産業の創出

期日：2007年12月14日（金）

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール（JR山手線・京浜東北線田町駅徒歩約8分、都営地下鉄浅草線・三田線三田駅徒歩約7分、都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅徒歩約8分）<http://www.keio.ac.jp/access.html>

主催：日本光学会産学官連携委員会

共催：日本光学会生体医用光学研究グループ

協賛：応用物理学会（光波センシング技術研究会・新画像システム研究会）ほか

プログラム：

13:30 開会の挨拶

13:35 特別講演「インテリジェント手術室と融合大学院（先端医科学研究センター）での医工融合」伊関洋（東京女子医大）

14:40 招待講演「人工視覚システムの研究開発：医工連携の意義と課題」八木 透（東工大）

15:10 招待講演「再生医療を評価する光計測技術」石原美弥（防医大）

16:00 パネルディスカッション「医療・健康・福祉における光応用新産業創出」

パネリスト：伊関 洋（東京女子医大）・春名正光（大阪大）・佐藤俊一（防医大）・清水公治（島津製作所）・弓場俊輔（NEDO）

17:30 閉会の挨拶

17:40 懇親会

参加費：事前登録—日本光学会会員・協賛学協会会員4,000円、非会員5,000円、学生 無料（聴講のみ）。当日登録—日本光学会会員・協賛学協会会員5,000円、非会員6,000円、学生 無料（聴講のみ）。

懇親会費：4,000円

事前登録方法：11月30日18時締切。電子メールまたはFaxにて下記項目をご記入の上、お申し込みください。(1) 氏名（フリガナ）、(2) 所属、(3) 電子メールアドレス、(4) 電話番号、(5) Fax番号、(6) 会員・非会員・学生の区分（日本光学会賛助会員の企業等に所属の方は会員としてご登録ください）。事前登録をされた方には12月1日までに電子メールで登録番号をお知らせします。

事前登録申込先・問合せ先：

慶應義塾大学理工学部電子工学科 岡田英史

電話 045-566-1532 Fax 045-566-1529

E-mail: IAG-forum@okd.elec.keio.ac.jp

第106回微小光学研究会「超高速光通信と微小光学」

日時：2007年11月30日（金）10:00~16:00

場所：工学院大学新宿キャンパスアーバンテックホール 〒163-8677 新宿区西新宿1-24-2（JR新宿駅西口徒歩5分、京王線・小田急線・地下鉄各線新宿駅徒歩5分、大江戸線都庁前駅徒歩3分、西武新宿線西武新宿駅徒歩10分）<http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/>

主催：日本光学会微小光学研究グループ

プログラム

- 10:00 開会の挨拶
10:05 イントロダクトリー・トーク「今、そして次の超高速光通信は」山下真司(東大)
10:25 特別講演「100 Gb/s 級超大容量光伝送技術の最新動向」吉田英二・日比野善典(NTT 未来ねっと研)
11:05 「次世代光通信システムにおける SOA-MZI の可能性」清水克宏(三菱電機)・北山研一(大阪大)
11:35 「超短パルスを用いた高次機能光制御」西澤典彦(大阪大)
13:05 「光多値変復調技術」佐々木慎也(日立)
13:35 「超高速光パケット交換システムと関連技術」和田尚也(NiCT)
14:05 「帯域スペクトルシェイパーを用いた繰り返し周波数・中心波長可変な THz 光クロックの生成」駒井友紀・安西志摩子・小館香椎子(日本女子大)
14:50 「PLZT 導波路による超高速スイッチ」梨本恵一(エピフォトニクス)
15:20 「LiNbO₃ 高速ベクトル変調器」市川潤一郎(住友大阪セメント)
15:50 閉会の挨拶

参加費：一般4,000円，学生1,000円(資料代含む。当日ご持参ください)

参加申込：不要(直接会場にお越しください)

担当委員：黒田(東大)，國分(横国大)，小川(日本女子大)，小澤(古河電工)，笹川(三菱電機)

問合せ先：三菱電機先端技術総合研究所 笹川智広

電話 075-958-3034 Fax 075-953-5911

E-mail: Sasagawa.Tomohiro@ea.MitsubishiElectric.co.jp

プログラムは、微小光学研究グループのホームページ <http://www.comemoc.com/>でもご覧になれます。

光設計研究グループ第38回研究会「宇宙開発における光学技術」

光学と宇宙をキーワードに、日本を代表する望遠鏡開発技術者、衛星技術者、天文学者の方々を講師にお招きして研究会を開催します。光学エンジニアの皆様、世界をリードする日本の天体観測技術を製品開発のヒントにしませんか。宇宙開発、天文学に興味のある学生の皆様、一流の技術者、研究者とお話しできるまたとない機会です。宇宙開発技術者、天文学者等プロの皆様にも魅力的な講演であると確信しています。

日 時：2007年12月14日(金) 10:20~17:20

場 所：京都商工会議所1-3教室(〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル)

主 催：日本光学会光設計研究グループ(ODG)

プログラム：

- 10:20 開会の挨拶
10:30 「補償光学と次世代超大型望遠鏡」家 正則(国立天文台)
11:10 「公共施設用天体望遠鏡の設計と製造の実際」西村有二(西村製作所)
11:50 昼食休憩
12:50 「天体望遠鏡の光学設計」石井慎一郎(ペンタックス)
13:30 「陸域観測技術衛星(ALOS)の高精度恒星センサ：設計、検証、軌道上校正」岩田隆敬(JAXA)
14:10 「だいち(ALOS)のパンクロマチック立体視センサ(PRISM)について」市田謙一・平松 優・稲田仁美(NEC 東芝スペースシステム)
14:50 休憩
15:10 「すばる望遠鏡光学性能の実現方法とその応用」三神 泉(三菱電機)
15:50 「ひので可視光望遠鏡」常田佐久(国立天文台)
16:30 「軽くて冷やせる望遠鏡を求めて赤外線天文衛星へ」尾中 敬(東大)
17:10 閉会の挨拶
17:30 懇親会

参加費：ODG 会員4,000円，ODG 学生会員無料，一般10,000円，学生一般2,000円。当日受付にてお支払いください。

定 員：100名。定員オーバー後の申し込みはその旨ご連絡します。

参加申込：以下の内容を申込先にお送りください。(1) 氏名(フリガナ)，(2) 所属，(3) 連絡先(住所，電話，Fax，E-mail)，(4) 参加区分(1. 光設計研究グループ会員，2. 学生会員，3. 一般，4. 学生一般)，(5) 懇親会参加の有無

申込先：三菱電機(株)先端技術総合研究所大画面ディスプレイ開発プロジェクトグループ光応用技術グループ 桑田宗晴

〒617-8550 長岡京市馬場岡所1

電話 075-958-3034 Fax 075-953-5911

E-mail: k38reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ先：三菱電機(株)先端技術総合研究所レーザ・電気加工技術部 河野裕之

〒661-8661 尼崎市塚口本町 8-1-1
電話 06-6497-7107 Fax 06-6497-7288
E-mail: k38s@opticsdesign.gr.jp
http://www.opticsdesign.gr.jp/

公開セミナー「高出力 LED および LED 照明の現状と将来展望」

近年、LED の高輝度化がすすみ既存のランプへの置き換えの動きが起っています。LED 照明が実用化すると社会のいろいろな分野でインパクトを与えることとなります。本セミナーでは LED 光源の高輝度化、および LED 光源を応用するいくつかの分野での現状と将来展望、および LED 照明演色性評価、シミュレーションなどの基盤技術について解説していただきます。

日 時：2008 年 1 月 18 日(金) 10:00~16:50
場 所：機械振興会館 6 階 67 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)
主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会
協 賛：日本光学会、(社)照明学会
プログラム：

「高出力・高演色白色 LED 照明システム—光源開発の基礎と応用—」田口常正 (山口大)

「高出力 LED の自動車ヘッドランプへの応用」小池輝夫 (スタンレー電気)

「高出力 LED の住宅用照明光源への応用」西浦晃司 (松下電工)

「高出力 LED のプロジェクター照明および TV バックライトへの応用」八木隆明 (フィリップスルミレッズライティングカンパニー)

「LED 光源の演色性と測色評価技術」小松原仁 (日本色彩研究所)

「LED 光源応用分野における、CAE による照明設計」市澤俊介 (サイバネットシステム)

参加費：1 名につき、一般 25,200 円、正会員 14,700 円、賛助会員 18,900 円、協賛 22,050 円 (テキスト代・消費税を含む)

定 員：60 名
申込期限：2008 年 1 月 11 日(金)
問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail: info@joem.or.jp http://www.joem.or.jp/

第 6 回ナノフォトリクスシンポジウム「新奇機能性マテリアルとナノフォトリクス」

ナノ粒子、ナノ金属構造などの物質と光波のナノレベルでの相互作用の理解と応用は、ナノフォトリクスにおける新しい機能を実現するデバイス開発のためにますます重要となりつつあります。今回のシンポジウムでは、そうした機能をそれ自身で発現するナノ材料・構造の創製へのアプローチや、そうした材料を包含するナノ・マイクロデバイスの設計・造形技術の新しい展開に着目し、国内外からの話題提供をお願いしました。

日 時：2007 年 11 月 22 日(木) 10:00~18:00
場 所：理化学研究所大河内記念ホール (東武東上線・営団地下鉄有楽町線と光市駅下車徒歩約 15 分)
主 催：理化学研究所河田ナノフォトリクス研究室、計測自動制御学会センシングフォトリクス部会
協 賛：日本光学会ほか
問合せ先：理化学研究所河田ナノフォトリクス研究室 加藤純一
E-mail: kato@optsun.riken.jp

図解で分かる現代光科学の基礎・ナノフォトリクス入門コース

本コースでは、「近接場光」を理解するために最初に必要となる光科学の基礎と基盤技術について勉強するとともに、ナノフォトリクスによる技術革新の原理と応用への基礎知識の修得および近接場光顕微鏡の実用化事例を紹介します。本コースの講師陣の豊富な経験を基に、光技術についての基礎概念把握、応用を考えるときの重要技術など、書物だけでは得られない実際的情報を身近に会得できます。

期 日：2007 年 11 月 13 日(火)、20 日(火)、
12 月 4 日(火)
場 所：かながわサイエンスパーク (KSP) 内研修室 (JR 南武線武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝ノ口駅下車)
主 催：(財)神奈川科学技術アカデミー
共 催：NPO ナノフォトリクス工学推進機構
後 援：日本光学会ほか
問合せ先：(財)神奈川科学技術アカデミー (KAST) 教育研修グループ
電話 044-819-2033 Fax 044-819-2097
E-mail: ed@newkast.or.jp
http://www.newkast.or.jp

ウインター・サイエンスキャンプ '07-'08 参加者募集

先進的な研究施設・実験装置等を有する大学・公的研究機関(9会場)が、冬休みの3日間高校生を受け入れ、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造技術、(宇宙・海洋等の)フロンティア、地球科学、社会基盤等の分野において、第一線で活躍する研究者・技術者等から直接講義や実習指導が受けられる科学技術体験合宿プログラムです。募集要項、申込書は、事務局に請求するか、Webサイトでも入手できます。

期日：2007年12月24日(月)～2008年1月6日(日)
の期間中の2泊3日

場所：大学、公的研究機関(9会場)

主催：(独)科学技術振興機構

定員：受け入れ会場ごとに10～20名(合計127名)。

※前回応募倍率約2.5倍

参加費：無料(自宅～会場の往復交通費は参加者負担)

応募締切：11月15日(木)必着

応募方法：参加申込書を事務局宛に送付

問合せ先：日本科学技術振興財団振興事業部内 サイエ
ンスキャンプ事務局

電話 03-3212-2454 Fax 03-3212-0014

<http://spp.jst.go.jp/>

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒220-0073 横浜市西区岡野2-4-3 古河電気工業(株) 横浜研究所 解析技術センター

麻生 修

電話 045-311-1212 Fax 045-314-5190 E-mail: aso@ch.furukawa.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成19年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	伊東 一良* (大阪大)	
副幹事長：	笹木 敬司* (北海道大)	渡辺 正信* (産総研)
前幹事長：	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事：	岡本 隆之* (理化学研)	津村 徳道* (千葉大)
	田中 哲* (防衛大)	石橋 爾子* (ネオアーク)
	菅谷 綾子* (ニコン)	生駒 晋也* (トプコン)
	竹内 誠二* (キヤノン)	麻生 修* (古河電工)
	芦原 聡* (東京農工大)	
『光学』編集幹事：	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事：	各務 学 (豊田中央研)	中川 清 (香川大)
産学協力幹事：	藤井 秀雄 (ペンタックス)	石樽 崇明 (慶應義塾大)
将来問題担当幹事：	清水 賀代 (日本女子大)	谷川ゆかり (産総研)
電子化担当幹事：	伊藤 達男 (松下電器)	森野 剛志 (東芝)
事業・企画担当幹事：	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	岡田 訓明 (シャープ)
	板橋 彰久 (リコー)	白石 武嗣 (コニカミノルタオプト)
	武山 哲英 (オリンパス)	西畑 純弘 (富士フイルム)
	忠永 修** (NTT)	吉川 宣一 (埼玉大)
	佐藤 雅之 (北九州市立大)	二瓶 裕之 (北海道医療大)
	佐藤 俊一 (東北大)	田代 発造 (富山大)
	鈴木 孝昌 (新潟大)	杉田 篤史 (静岡大)
	和田 健司 (大阪府立大)	松尾 繁樹 (徳島大)
	入江 正浩 (九州大)	

** 幹事代理。次回幹事選挙にて幹事会推薦予定。